



# The Star in the West

## 東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-2 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題  
アジア会長主題  
東日本区理事主題  
あずさ部部長主題  
東京西クラブ会長主題

“Our Future Begins Today” 「私たちの未来は、今日より始まる」  
“Respect Y's Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」  
「明日に向かって、今日動こう」  
「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」  
「楽しい例会を」

2017年3月号

NO 487

あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。  
また、ともし火をともして升の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照らすのである。そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。天の父をあがめるようになるためである。  
マタイ 5:14-16

### ワイズスピリット 我々ができること

東日本区では定款改訂作業が進められている。そして定款前文の新設も同時進行している。定款前文は目下募集中である。その募集案内文の中に「国際憲法、東日本区定款に盛り込まれているワイズスピリットを凝縮したような「前文」を作成してほしい」と記されている〔東日本区定款改訂委員会委員長・辻剛（発信一同委員会書記・田中博之）〕。

ワイズスピリットについて私なりに考えた。「国際憲法、東日本区定款は、ワイズメンズ国際協会はイエス・キリストの教えに基づきうんぬん、(中略) 全人類のため、よりよき世界を築くべく努力するものである。」と明記している。ここで言うイエス・キリストの教えとは、一言で言えば隣人愛(新約聖書マタイによる福音書22章39節他)を実行しなさい、

とすることであると思う。

イエスの時代から2000年を経過する間に人間の知恵は、博愛、おもいやり、寄り添いなどの言葉で表せるように、人と共に生きることの幸せを自覚することを学んできた。この学んだ幸せを、家族、身近な仲間、仕事仲間、同郷の人たち、同国人、未だ会ったこともない民族も人種も違う世界の人に対して実行しなさい、である。YMCAは、今全人的成長を願って全世界で社会奉仕を展開している。私たちは世界を動かせるような力は残念ながら持合わせていないけれども私たちの行動半径にある身近なところで、この理念に則した活動は、YMCAを自らの知力、労力あるいは金力をもって支援するという形で実現を図っていきたいと思う。(神谷幸男)

### 滝の城址・柳瀬川の花見かな WHOウォーキングのご案内

滝の城は室町時代の出城。サクラ、レンギョウ、コブシ、ニリンソウ、カタクリなどの花景色です。  
期 日：2017年3月25日(土)  
コース：西武池袋線・清瀬駅<バス>一下田停留所-金山橋-柳瀬川遊歩道-滝の城址公園(城址・城山神社・公園)-城前橋-円通寺-旧森田家住宅-台田団地停留所<バス>西武池袋線・清瀬駅  
集 合：西武池袋線・清瀬駅北口改札前9:40(厳守)  
解 散：西武池袋線・清瀬駅午後2時半  
携行品：弁当(かならず)、飲料、防寒具、敷物、雨具  
参加費：300円(施設入場料、交通費は個人負担)初参加の方は別に名札代として200円。

### クラブ役員

会 長 高嶋美知子  
副 会 長 篠原 文恵  
書 記 本川 悦子  
会 計 石井 元子  
担当主事 宮崎 純

2月の記録			ニコニコ	5,200円	
在籍者数	17人	メネット	1人	クラブファンド	567円
(内功労会員)	1人			ファンド残高	154,720円
出席者数	11人	コメント	0人	ホテル校ファンド	11,500円
メーカー	2人	ビジター	0人	ホテル校残高	83,873円
出席率	81%	ゲスト	2人	WHO参加者	45人
前月修正	-	出席者合計	14人		

## 3月合同例会のご案内

### 今月の強調テーマ：BF、メネット

3月例会は恒例の東京世田谷クラブとの合同例会です。

卓話は福祉に関するお話です。福祉事業に関わっておられる方も少なくありません。興味深いお話が聞けることでしょう。

今回は東京世田谷クラブが担当です。日時・会場がいつもと違いますのでご注意ください。

日時：3月17日(金) 18:00~20:00

会場：経堂すずらん会館(案内図参照)

電話 03-3426-8855

会費：1,500円(ゲスト・ビジター・メネット)

担当：B班(石井、神谷、河原崎、竹内、宮崎)

### HAPPY BIRTHDAY

6日 山梨 順子 21日 吉田 明弘

30日 小原 武夫 31日 大野 貞次

受付	東京西	神谷 幸男
	世田谷	張替 滋夫・太田 勝人
司会	世田谷	小川 圭一
開会点鐘	世田谷	岩崎 弘会長
ワイズソング&信条		一 同
聖書朗読・祈祷	世田谷	寺門 文雄
ゲスト&ビジター紹介	東京西	高嶋 会長
	世田谷	岩崎 会長
食前の祈り	世田谷	山梨 雄一
会食		一 同
卓話	「先進主要国での福祉介護」 東京世田谷クラブ 松井直樹さん	
ハッピーバースデー		
結婚記念日	2日・小原武夫	4日・寺門文雄
ニコニコ献金		一 同
諸報告(含むYMCA報告)		
閉会点鐘	東京西	高嶋 会長

### —2月第2例会(事務会)—

日時：2月23日(木)

19:00~21:00

場所：あんさんぶる荻窪 1F

出席者：石井、大野、神谷、篠原、高嶋、鳥越、本川、村野、吉田

<報告事項>

- ①2月のデータを確認した。
- ②2月の経常会計を承認した。
- ③会員の近況：小山多喜子さん、庄野久男さん、堀内浩二さんの近況報告があった。

<協議事項・例会関係>

#### ▲3月第2例会

日時：3月23日(木)

19:15~21:15

場所：あんさんぶる荻窪 1F

#### ▲4月例会

日時：4月20日(木)

18:45~21:00

場所：あんさんぶる荻窪 5F

卓話：片山啓さん(茨城クラブ)

#### ▲4月第2例会

日時：4月27日(木)

19:15~21:15

場所：あんさんぶる荻窪 4F

<協議事項・例会以外>

- ①次期クラブ4役が確定した。  
会 長・本川悦子

副会長・石井元子

書 記・篠原文恵

会 計・村野絢子

- ②10月のあずさ部会の開催にむけての準備を部会長、書記、会計のほかに実行委員に石井、篠原、高嶋、本川、村野、吉田の6人が加わり、第2例会が始まる前に1時間協議することにした。方向性が決まったら、メンバー全員で協力、分担する。

#### ①例会場について

来年3月からの「あんさんぶる荻窪」閉鎖に伴い、その後の例会場の候補を協議した。

- ③使用済み切手の納入方法が変わったので、収集量が少なかった今年度は納めないで、来年度合算して納めることにした。

- ④故木原洗さんの奥様からいただいた献金の用途について協議した。

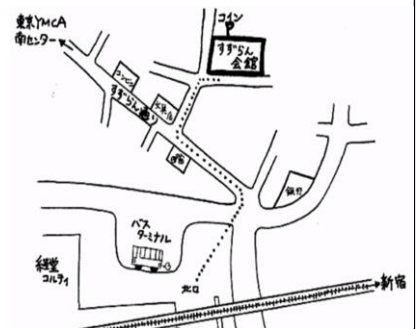
- ⑤TOFには、2月例会食事代として予算計上している全額を区に送金し、メンバーに報告することを確認した。

(書記・本川悦子)

### 卓話者紹介

**松井 直樹(まつい・なおき)さん**  
(株)ヒューマン・ヘルスケア・システム代表取締役

1949年、東京生まれ。1973年、中央大法学部政治学科卒、キリスト新聞社入社。1987年、青山学院大学II部文学部教育学科卒。1988年、日本初の高齢者問題の新聞「シルバー新報」入社。1991年、(株)ヒューマン・ヘルスケア・システムを設立。1996年、医療と介護の経営ジャーナル誌「シニア・コミュニティ」(現名称)を発行。専門分野は高齢者介護問題分野。ワイズへは、通っている三鷹教会にYMCAやワイズ関係の方が多く、東京世田谷クラブの寺門文雄さんと小原さんのおすすめで入会。





小林太地さんは山手学舎のフレッシュマン

## － 2月例会報告－

2月例会は16日(木) あんさんぶる荻窪で開催されました。

今月はTime of Fastでした。

卓話は早稲田大学1年生、小林太地さん、「異文化との遭遇・自分を見直す機会を得たー国際ユースコンボケーションに参加してー」というテーマで、2017年8月1日～7日まで台北で開催された国際ユースコンボケーション(IYC)の報告を兼ね、ご自身の体験、感じたことなどを話されました。

IYCは、世界中のユースが2年に1度集まり、スローガンの内容について、また今後2年間の活動について話し合う会で、今回のスローガンは「Service in Action, Dare to Lead」。参加20か国、参加者94人、日本からは8人(東日本区6人、西日本区2人)が参加。毎日のスケジュールはかなりタイトで、連日沢山のセッションが用意されていた。プロジェクト・マネジメントやリーダーシップの取り方等、勉強になった。しかし、ディスカッションとなると、アジア諸国のメンバーには、かなり苦しい。英語圏のメンバーは早口になり、聞き取ることが大変。また devotion=祈祷の時間は毎日、各地域の代表が様々な方法で行ない、アジア地域は日本が担当した。

8月6日ということもあり、原爆、植民地支配、戦争について考え、平和への祈りとして発表。しかし台湾、韓国や米国、さまざまの国で、これらの問題をどうとら

えられているのか、各国への配慮など、準備でかなり深く議論し合った。発表では世界の平和のためと受け止められたと思うと。

同室者は色々の国の人で親しくなったが、日本の常識は通用しない異世界を心身両面で体験し、その中で自分を見つめなおし、最後に生かすことを、楽しそうに話してくださいました。本当に素晴らしい経験をなさり、これからが楽しみです。

最後に小林さんの年齢が21歳とわかり、当クラブの女性たちがそろって「孫だわ〜」。成長した頼もしい孫を見る祖母の目でした。今後のご活躍を心から祈っています。(鳥越成代)

出席者:<メンバー>石井、大野、神谷、河原崎、高嶋、竹内、鳥越、本川、村野、山田、吉田、<メネット>神谷、<ゲスト>恒石浩志、小林太地(卓話)、<メイキヤップ>篠原、宮崎

## 北斎美術館と両国の町歩き －2月WHO報告－

連日の春の嵐も収まり暖かな25日、両国駅から45人が出発。江戸東京博物館前を通りすぎ、昨年11月オープン「すみだ北斎美術館」に到着。昨今の浮世絵ゲームにも関わらず館内は静か、ピーター・モース氏と檜崎宗重氏の膨大なコレクションに見入る。

晩年まで精力的に描いた版画、肉筆画など俯瞰で大胆な構図の数々に圧倒され、ユーモアのある絵手本も面白かった。

国技館の前にある「江戸NOREN」で昼食後、小林一茶、芥川龍之介、勝海舟の旧居跡などを見学後、2班に分かれ墨田区の“小さな博物館”の一つ「フットマークギャラリー」を訪れた。館長の磯部成文さん(東京北クラブ)は以前当クラブで卓話をして下さったが、「介護」という言葉を最初に創作され、水着、おむつカバーなどの商品を見ながら、そ

の成り立ちを説明して頂いた。リオ五輪での金メダリスト・金藤理恵さんを応援するなど下町企業として、地域に活力を与えておられるようだ。



頭に商品をかぶった磯部成文さん

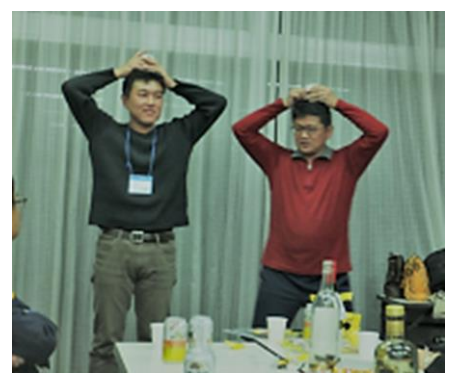
関東大震災、東京大空襲などを潜り抜けて町は生まれ変わったが、史跡跡は銘板で保存され、吉良邸跡は「首洗いの井戸」まであるのにはびっくり。回向院では沢山の供養塔の横に動物の供養塔も建っていた。

史実が満載の両国の街歩きは健脚ぞろいのメンバーの元気さも裏付けた一日だった。

(篠原文恵)

ワイズ関係参加者:石井・篠原・吉田(東京西)、中澤(東京たんぽぽ)、関(石巻広域)

下は次頁に掲載の東西交流会の様子





講演する山田公平さん

## 東西日本区交流会参加記

第2回東西日本区交流会は、2月4・5日に東山荘で開催された。東日本区187人、西日本区171人、台湾区11人、計369人が一堂に会した。大会テーマは「語ろう！未来につなぐワイズスピリットを！」、第1部-開会式・講演。日本YMCA同盟理事中道基夫氏の講演。演題「YMCAのブランディングとワイズ」、要はYMCAの知名度UP。

第2部-交流プログラム。

第3部-夕食懇親会。

第4部-フェロシップアワー。

ペンタゴンDBC・30人ほどが集まって賑やかに交流を深めた。熊本にしクラブ会長宮田茂さんのマジックはこの会を一層盛り上げた。

第5部-講演、報告、DBC/IBC締結式。

講演は前アジア・太平洋YMCA同盟総主事山田公平氏による「ワイズとYMCA、今後への期待」。

報告は二つの被災地レポート。石巻広域クラブ清水弘一さんによる東日本大震災、熊本にしクラブ亀浦正行さんによる熊本地震。

東京西クラブの参加者は、大野、高嶋、吉田、神谷、神谷Mの5人。

ちなみに12年前に開催された第1回大会のテキストブックを開いてみた。2005年2月19・20日、会場は同じく東山荘。大会テーマは「みんな集まれワイズはひとつ！新しい友だちを見つけよう」。

参加者は東日本区249人、西日本区156人、計405人。東京西クラブの参加者は大野、高嶋、本川、山田、吉田、神谷、神谷M。

参加者数のみでうんぬんすることの不適切さは言うまでもないが、今回の大会テーマ「語ろう！未来につなぐワイズスピリットを！」が一層身に沁みる。

(神谷幸男)

## あずさ部第2回評議会報告

2017年2月11日(土)13:30~16:30、東京YMCA山手センター101号室において、「安兵衛評議会」と銘打って、59人(内議決権者35人)の参加者にて開催された。

開会式に続いて評議会。提案された5議案は全て全会一致で可決された。

第1号議案:2017-2018年度部役員承認の件(詳細省略)

第2号議案:2017-2018年度次期部長推薦の件 廣瀬健さん(甲府21)が推薦され承認された。

第3号議案:2017-2018年度部選出代議員推薦の件は浅羽俊一郎さん(東京山手、現部長)が推薦され承認された。

第4号議案:2017-2019年度部監事推薦の件は金井宏素さん(松本)が推薦され承認された。

第5号議案:2016-2017年度CS助成金配分の件が承認された。(詳細省略)

続いて、部長活動報告、第2回東日本区役員会報告、あずさ部会計中間報告、各事業主査報告、各クラブ会長報告が行われた。

閉会式、集合写真撮影の後、懇親会。懇親会は1グループ5~7人に別れ、茶菓を飲食しながらそれぞれのグループが今抱えている課題についてその対策を話し合った。

最後に各グループの発表を聴き、それぞれ課題とその対策を共有することができ、意義深い集まりであった。(神谷幸男)

## YMCA Today

◆クリスマス募金として、2月1日現在、148人の個人のほか、企業等10社、教会等8団体、合計166の個人・法人より合計2,305,497円が寄せられました。この募金は、東日本大震災復興支援活動、熊本地震復興支援活動、国際協力活動、フレンドシップファンドのために用いさせていただきます。ご協力ありがとうございます。

◆「東京ベイサイドワイズメンズクラブ」主催による『新春夢拾いドリーム・ジャンボ・ゴミ拾い』が1月14日(土)に行われ、しなのめYMCAこども園の在園児・卒園児とその保護者約130人が参加し、青空の下で、こども園付近のゴミ拾いをしました。

◆1月20日、学士会館にて新春特別午餐会が開催され、作家の阿刀田高氏に卓話を頂きました。『日本語と言葉遊びの楽しみ』と題し、日本語独自の発達の歴史や、その豊かさ、楽しさが分かち合われた会となりました。

◆今年で11回目となる子育て講演会が、しなのめYMCAこども園で1月28日に行われました。元サッカー日本代表監督の岡田武史氏をお迎えし、『岡田武史が子育ての明日を語る』と題してお話いただきました。177人の参加があり、幼少期に大切な心と体の成長を「運動遊びとスポーツ」をテーマに掘り下げ、子どもの可能性や子育ての未来の形を見つめ直す機会となりました。

◆「第27回 東京YMCAチャリティーゴルフ大会」を開催します。この大会は、障がい児支援、国際協力、不登校児支援など、東京YMCAが行なう子どもたちの活動支援を目的としています。多くの方のお越しをお待ちしています。2017年4月13日(木)レイクウッド総成カントリークラブにて開催です。

(担当主事・宮崎 純)

## ☆☆ インタビュー ☆☆ 栗本 治郎さんに聴く

\* \* \*

栗本治郎さん(熱海)は、いよいよ7月から、東日本区第21代区理事に就任されます。



「かなり忙しくなっていますか。」

「そうですね。昨年3月の次期長・事業研修会から理事職の勉強が始まりました。各委員会にも出席するようになりました。今は、3月の次期役員研修会に向けて勉強中です。昨年12月にバンコクで行われた国際の次期理事研修会と年央会議に利根川恵子理事と参加して、改めて英語力の必要性を痛感しています。これはこれからも利根川さんが頼りです」  
「栗本さんは年齢の割にワイズ歴が長いですね。」

「はい、1979年に29歳で入会しました。熱海クラブは、まだ熱海グローリークラブと分かれる前で、会員が80数人いました」  
「当時の熱海クラブの入会条件は厳しかったと聞いていますが。」

「新会員の推薦があると役員会において審査をした上で、メンバー全員の賛成が必要でした。このこと以外は、むしろ来るもの拒まずで、門戸は広く開かれていました。平均年齢は40数歳で、同世代も多くいました」

「同じ地域に住む80人全員の賛成とは厳しいですね。」

「10年前に私が区の会員増強事業主任として『知人・友人同伴キャンペーン』を始めた時、反対者がいて入会出来ないということが無いように、この会員全員による諾否制度は廃止しました」

「入会当時の熱海クラブの地域における存在感はいかがでした。」

「当時は、他の奉仕団体も会員が多くいましたが、ワイズはかなり存在感があったと思います。熱海の方はワイズが全国的にはこれほど小さな規模の組織だと今も昔も知らないと思います」

「熱海国際大会も強烈でした。」

「私の入会前でしたが、当時の話を伺うと、先輩達のワイズへの意識の高さや、無謀とも思える行動力に驚かされます。1963年にチャーターし、2年後に第20回日本区大会をホストし、1975年には第51回国際大会を人口5万人(当時)の熱海市で開催してしまっただけです。」

「栗本さんは、もともと熱海の方なのですか。」

「熱海を離れたのは学生時代の東京での4年間だけです。祖父の代は浅草の花川戸で傘問屋をしていましたが、戦争で熱海の家疎開で来てそのまま住み着きました。いつでも入れる温泉が気に入ったのかもしれませんが」

「子どもの頃は、どんな子どもでしたか。」

「当時の子どもはみんなそうでしたが、長嶋にあこがれて、野球が大好きで一日中外で遊んでいました。プロ野球に入るつもりでしたが、厳しい練習には馴染めず、早目に方向転換しました。高校では現在厚木クラブの北村文雄さんと机を並べていました」

「サラリーマンの経験は。」

「どういうわけか、サラリーマンになる気は、全くありませんでした。家は土産物店を営んでいましたが、観光客の減少で難しくなっていたので、兄とパチンコ店を始めました。熱海と三島で約40年ほど営んでいましたが、跡を継ぐ気のある家族もいないので、3年前に譲渡し、今は、多少の不動産の管理とワイズ活動と趣味のゴルフのセミリタイア状態です」

「ワイズでの一番の思い出は。」

「2004年に熱海クラブ設立40周年の記念事業として第7回東日本区大会をホストしたことでしょいか。熱海グローリークラブと分かれてからのクラブとして最大のイベントでした」

「熱海にはワイズメンズクラブが創り、運営しているYMCAがありますね。」

「10年ほど前にNPO法人にしました。ご存知だと思いますが、熱海YMCAには主事がいません。富士山部の各クラブが、それぞれの地域で青少年事業を中心に奉仕事業を展開しています」

「熱海YMCAについて、何が課題だと思われませんか。」

「熱海YMCAは熱海市では知られていますが、富士山部の他の地域では認知されていません。富士山YMCAあるいは静岡YMCAの名称に変えられるような組織の拡大が望まれます」

「区の課題と、それを好転させる手がかりをどう考えられますか。」

「最大の課題は、間違いなく会員の減少と高齢化です。次年度の取り組みとして、Eについては、部にエクステンション委員会を設置し、新クラブの種を植え、育てたいと思います。部内でエクステンションを検討することは、部の活性化にも繋がるものと思います。MCについては、会員獲得の具体的なノウハウを検討・提案していきたいです」

「大都市にあるクラブ、特に京浜地域のクラブに何を求めますか。」

「大人口を抱えているにもかかわらず、クラブ数が少なく、会員数が少ないクラブが多くあります。YMCAのランチが多くあり、エクステンションの可能性が一番高い地域ですから」

「今、ワイズでの夢は。」

「誰でもワイズのことを知っていて、入会したいと思うようなクラブになることです」

「有難うございました。」

(吉田明弘)

**誰でもなれる百歳長寿を目指す—平成の養生訓(6)—4 竹内 隆(90歳)**

**(D)百歳長寿の前に立ちはだかる認知症④**

高齢化に伴い、自らの認知症を自覚せず、配偶者との間でトラブルるケースも増加している。自分が認知症になったかどうかを知る事が出来れば好都合である。

「簡単な認知症の自己診断法」医療機関では、長谷川式認知症スケール(HDS-R)、MMSEなどが一般的であるが、最近簡便法が開発されて診察室や一般にも普及し始めている。右欄の「認知症簡易スクリーニングシート」をお互いに医者と患者になってやってみることをお勧めする。15点満点中12点以下で認知症が疑われる。12点以下の方は、躊躇なく専門医に受診される事をお勧めする。

**テスト方法**

ご本人に質問、および立方体の模写をしていただき、点数を記入し、合計点数から認知症を診断してください。

**認知症簡易スクリーニングシート(参考文献より改変、引用)**

		不正解	正解
即時再生	これから言う3つの言葉を言ってください。あとでまた聞きますからよく覚えておいてください。(以下の系列のいずれか1つで、採用した系列に○印をつけておく) 1 : a 桜 b 猫 c 電車 2 : a 梅 b 犬 c 自動車	a	0 1
		b	0 1
		c	0 1
時間の見当識	今日は何年の何月何日ですか。何曜日ですか。(年月日、曜日が正解でそれぞれ1点ずつ)	年月	0 1
		日	0 1
		曜日	0 1
		曜日	0 1
空間認知	 同じ図形を描いてください。(一部不正解：1点。完全な正解：2点)	0	1 2
遅延再生	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってください。(自発的に回答があれば各2点、もし回答がない場合は以下のヒントを与えて正解であれば1点。) a 植物 b 動物 c 乗り物	a	0 1 2
		b	0 1 2
		c	0 1 2

**合計: /15点**

**合計点数 5~13点 : 特に問題ないと思われます。12~0点 : 認知症が疑われます。**

**初めてのウェスタンダンス 神谷幸男**

2月4日~5日に御殿場東山荘にて開催された東西日本区交流会のプログラムの一つに「ダンス」があった。これにエントリーして練習会場に行ってみたら既に初心者向けウェスタンダンスの手ほどきが行われていた。ウェスタンダンスというものは殆ど馴染みがなかったが、(そう言えばかつて10数年前に西日本区大会の懇親会で京都のメネットさんたち5~6人のチームでカウボーイハットにベストにブーツと衣装もビシッと決めて軽やかに踊っていたことを思い出した)早速10人ほどの人たちの仲間に入って1、2、3、4、5、6、7、8と拍子を取りながら、リーダーに倣って体を動かし始めた。ステップそれ自体は単純で決して難しいものではないのに、体が思うよう

にステップが踏めない。だからリズムに乗れない。周りを見渡すとモタモタしている人もいないことはなかったが、皆さん楽しそうに軽快にリズムに乗っているではないか。これではいけないと個人レッスンを申し込んで初めから手ほどきを受け、その時は何とかサマになったかと思っただ、音楽に合わせて皆と一緒に踊り始めると元の木阿弥。泣きたい気分だ。このグループがこの後の懇親会で習得成果をステージの上で披露するとのこと。自分はその場でギブアップを決めた。  
さて、懇親会の宴もたけなわの中、いよいよ出番。衣装を纏った助っ人や飛び入りも加わって賑やかに軽やかに楽し気にステップを披露した。私はといえば勿論ステージの外。

**編集後記**

暖かい日があったかと思うと翌日は寒い冬日とまさに三寒四温の昨今です。スギ花粉も勢いを増しています。皆さん健康には十分ご留意ください。  
先日久しぶりに他クラブの例会に出席させていただきました。そのクラブの方々にお会いできることは当然ですが、出席されたビジター・ゲストの方々との交流も大変素晴らしいことです。ワイズは楽しいところです。  
次期東日本区理事に就任される栗本治郎さんのインタビュー記事は絶好のタイミングです。  
3月4・5日に行われる次期会長・部役員研修会に当クラブから7人が出席しました。来期は飛躍の年になるかも。お互いに支え合って期待に沿えるよう少し頑張りましょう。(SK)